



与謝野町

第43号 平成29年2月10日

# 議会だより

題字：加悦谷高等学校 書道部（吉岡里恵さん）



温江区の『元旦 走ろう会 歩こう会』

議長の新年あいさつ .....	2
補正予算 .....	3
条例・そのほか .....	7
組合議会・委員会の報告 .....	9と17

一般質問《14名の議員》 .....	10
議会懇談会の報告 .....	18
まちの宝 子どもページ .....	20



# 補正 予算

平成15年購入

## マイクロバス廃車

走行距離 339,000km

3台→2台



町のマイクロバス

### バス3台は必要では

高岡 伸明

どのマイクロバスがいつ削減されるのか。  
**社教課長** 廃車予定のバスは3号車である。走行距離が長く、傷みの激しいため、車検が満了する2月7日で廃車する。  
固 フル活動状態だが、学校区の自治活動に影響は出ないのか。  
**社教課長** 影響のないよう、2台で効率よく回す。

一般会計補正質疑者

高岡・家城・和田・安達・塩見・多田・小牧・伊藤・今田

## 新年あいさつ



# 子どもの声も町政へ



議長 勢 旗 毅

町民の皆様、新年あけましておめでとございます。謹んで新年のお祝いを申し上げます。  
昨年、議会懇談会等でお世話になりました。皆さんから頂きました声やご意見を、町づくりに反映すべく町長や、担当課に提出いたしました。  
議会も「学ぶ議会、議会の見える化」を推進力しながら新しい議会づくりが必要だと考えています。  
昨年の、議長選挙後のあいさつで「子ども議会」について提案いたしました。昨年は中途の提案で、教育委員会や学校との調整も不十分で叶いませんでした。今年は多少の仕組みを変えてでも実施したいと思っています。子ども議会は議会、行政の意

義や仕組みを理解してもらおうことと、町づくり等について子どもの声を活かそうという模擬議会であります。仮に子ども議会が困難であっても意見発表や提案をいただく場をつくりたいと思っています。有名な話としては、戦争で動物園の動物の多くを失いました。戦争が終わって数年後、東京台東区の子ども議会で、象が見たいという要望が出され、このことが国を動かし、インドのネール首相を動かして象のインディラが上野動物園に贈られることになりました。長野県飯田市では、昭和22年に市街地の3/4を焼失する大火にありました。中学生からリンゴの並木道をつくりたいとの提案をうけて「リンゴの並木道」がつくられて、現在も中学生が世話をし、市のシンボルとなっています。このような子どもたちの素晴らしい感性や、提案に改めて感心しています。  
皆さまには、今年も議会に対してご意見やご叱声をいただき、信頼される議会を目指して頑張ります。平成29年が皆様や与謝野町にとって幸多い年でありますことをお祈りし、新年のご挨拶といたします。

### 12月議会のよひす

12月定例会は12月1日から19日までの19日間で開催した。  
初日に専決処分の報告があり、職員による車の事故について質疑が集中した。  
常任委員会では担当課から所管事項について説明を受けた。

一般質問には14人の議員が登壇し、小学校の統合、ブランド戦略、中小企業振興基本条例、財政問題などで町政をたじた。  
本会議において指定管理者の指定12件、補正予算ではマイクロバスなどについて、延べ39人が質疑を行い原案可決し閉会した。なお、傍聴者は9人だった。





# 補正予算の一覧

(単位：万円)

平成28年度		補正額	予算総額	
一般会計5号		1億4,127	138億1,056	
特別会計	簡易水道会計2号	△820	5億4,010	
	下水道会計2号	0	16億1,830	
	農業集落排水会計1号	12	3,996	
	介護保険会計2号(事業+サービス勘定)	△4,639	27億4,252	
	国民健康保険会計3号	920	32億9,150	
		242	9,346	
水道事業会計2号補正		収益的収入	△718	—
		収益的支出	△1,512	—

## 補正予算の審議

補正予算の審議では、10人の議員が質疑を行った。現在3台で運行している町のマイクロバスを、今年の2月に1台廃車とし、2台で運行することになった。  
 新車を購入すると1200万円と高額になり、財政的に購入は難しい状況とのことだが、町にとつての必要性の議論は今後も行わなければならない。  
 有線テレビ、庁舎の安全管理、児童虐待、ヨサノ大学などについても質疑を行い全員賛成で原案可決した。

## 主な補正事業

臨時福祉給付金事業(非課税者)	1億	192万円
岩滝コミセンを認知症対応デイサービスへ改修	1,130	万円
農地集積交付金	1,002	万円
商工業者利子補給	660	万円
電算システム管理運営業務	1,416	万円
障害者自立支援給付費	2,281	万円
観光PR看板	458	万円

## 町のマイクロバス

家城 功

**町** 現在3台あるマイクロバスを2台に減らすとのこと。学校関係の移動等に係る外部委託料は。

**教育次長** 本年度学校関連で総額約400万円。

**町** マイクロバスを購入するといくらかかるのか。

**社教課長** 約1200万円。

**町** マイクロバスは町にとって必要なもの。運営経費や維持費の計算をして次の計画を示すべき。慎重かつ前向きに検討をし協議をしていく。

## 企業誘致

**町** 今回30万円の補正は、誰がどこに、どんな企業に行くのか。

**商工課長** 東京の製造業と精密機械の会社に誘致に係る調整打ち合わせのため、職員5回分の旅費。

**町** 現在当町に進出している企業の現状把握、町が求める企業の中身、進出する企業を感じる町の魅力など準備をしっかりと。資料も揃え企業誘致の方向性を示さなければ意味がない。

**商工課長** 指摘を受け止め、今後の行動に活かす。



2台で運行

## 庁舎の安全管理を

和田裕之



危険なタイル壁

**町** 加悦庁舎西側の外壁タイルが剥離・脱落している。タイル外壁の故障は、怪我などの重大事故につながる。竣工から14年余りでの故障であり、瑕疵担保責任はないのか。また、費用は掛かるが安全のため、全面点検が必要ではないか。

**建設課長** 瑕疵担保は通常2年である。本日昼から立会をし、今後の対応を決めたい。

**町** 受信障害が発生している。ダクト性フェーリング現象が発生すると、北陸中継局の電波を受信し、電波が混信し、KYT利用者5900世帯全部に影響する。画像の乱れや最悪の場合電波を受信できない状況が発生し、重大な事態が数日出る場合もある。原因は特定できているのか。また、どのような対応をするのか。

**CATV課長** 宮津中継局から野田川中継局へアンテナ方角を変え、機器を取替え周波数を変更する。

## 町の児童虐待やDVは 安達種雄

**町** 近年マスコミで児童虐待やDVが多く報じられているが、担当課では町の状況をどのように把握しているのか。また保護者からの相談数は。

**子育て課長** 今日まで100件程で昨年と今年はそれぞれ十数件程である。

**町** 児童相談所や警察に相談しているのか。

**子育て課長** それぞれ内容により通報、相談している。今年度より福祉課、教育

委員会、子育て応援課が一本となり民生委員と連携することで対応している。相談件数は増加の傾向がみられる。緊急時には待たないで、更に協議していく。

**町** 町の児童相談窓口や子育て支援について、現状で充分と考えるか。

**町長** 就学前の教育施設への入所希望者は増加傾向だ。保育料などに国・府の財政的支出がある。両親が仕事を持つ家庭が増えるなか、子どもへの対応が難しい家庭への取り組みに、現場も精いっぱい対応をしている。



電線にかかった倒木(町道)

## 街路・防犯灯について

多田正成

**町** 街路樹などが倒木し電線が切れたとき、住民は関電や営業所に電話をするが、夜や日曜祭日はガイダンスが流れ通じない場合、緊急を要し、行政と関電とのホットラインを結ぶような対策が取れないか。

**副町長** そういった例もあることは考えられるが、基本的には会社の営業サービスの問題で会社が考えることだ。



# 指定管理者の指定 12件

(単位：千円)

## 条例・そのほか

施設名	指定管理者	指定期間	指定管理料(年間)
幾地コミュニティ広場(さんさんパーク)	幾地区	3年	1,000
大豆・米乾燥調製施設	(株)与謝ファーム	5年	0
冷凍米飯加工施設(ファーマーズライス)	(株)加悦ファーマーズライス	5年	0
ツバキ育苗温室	京都千年ツバキの里育苗グループ	5年	0
石川農業構造改善センター	石川区	3年	555
生産物特産加工販売施設(ちんざん)	(有)明人夢村	5年	0
加悦木工加工施設	特定非営利活動法人あまのはしたて座	5年	0
大内峠一字観公園	大内峠一字観公園有限責任事業組合	5年	2,940
旧加悦鉄道加悦駅舎	特定非営利活動法人加悦鉄道保存会	5年	1,720
かや山の家	かや山の家運営委員会	5年	4,516
加悦椿文化資料館	(有)明人夢村	5年	2,456
旧尾藤家住宅	ちりめん街道を守り育てる会	5年	3,945

質疑者 今田 塩見 家城 多田 江原



石川農構センター

## 指定管理のあり方

多田正成

**固** 施設には町民利用施設と事業営利的施設がある。事業的施設経営には各年度によって赤字、赤字決算になるのは理解できるが、町民利用施設の管理で大きく収益が出るのは疑問だが。  
**商工課長** 決算状況により管理料を精査していく。  
**固** 同種の管理で赤字でも自助・共助の精神で管理している所もあるが。  
**商工課長** 今後その事も含め施設のあり方を考える。



一字観公園

## 指定管理料の基準を

今田博文

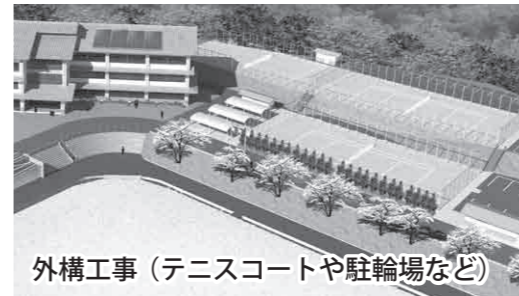
**固** 一字観公園の指定管理料80万円が減額されている。  
**商工課長** 直近3年間の売り上げ、支出のバランスを考慮して指定管理料を設定した。

**固** 収入が増えれば指定管理料を減額されるのは意欲もわかない。利潤を配分するルールをつくるべきだ。  
**総務課長** 一定のルールを設けるように検討する。

## 加悦中学校外構工事

塩見 晋

**固** 債務負担行為で1億2800万円の計上となっているが、当初外構工事を切り離れた時の説明では1億円ほどと聞いていたが。  
 現時点での、全体の工事費の予定額は。  
**教育次長** 外構工事は建築から土木工事に変わり諸経費等が高くなった。総額は25億円強になる。  
**建設課長** 今回の整備事業で、地元業者が係る部分が少なかつたのでこのような判断をした。



外構工事(テニスコートや駐輪場など)

**ヨサノ大学の試み**  
**固** ヨサノ大学はトリアル事業として企画財政課で始めている。リベラルアーツは教育委員会など、各課でそれぞれに人材育成事業をしているが住民から見ると事業の性格が分かりづらい。  
**企財課長** 今回の予算で29年度に向けてホームページを作成し、申し込みなどが分かりやすい窓口を設置したい。  
**町長** 各課で行っている人材育成事業を、一体的に融合した制度設計を始めている。

## ヨサノ大学は社会教育

小牧義昭



ホップ栽培

**固** 本来事業担当は教育委員会だ。できるのか。  
**社教課長** 各課と相談して決めたい。  
**計画策定に高校生の力**  
**固** 総合計画策定に座長を高校生とした100人と大人で策定した市がある。計画実現時に現役世代として実感する高校生の活用と協力を望む。  
**企財課長** 検討する。  
**田子氏の成果物見えず**  
**固** 9月30日完了の契約額200万円。京の豆つこ米の企画、実践の指導

とあるが成果物は何か。また、契約には議会議員と積極的な懇談を行うとあるが聞いたこともない。  
**農林課長** 成果物を見るには至っていない。  
**固** 完了検査も終了している。どうなっているか。  
**商工課長** 成果物を提供する。  
**クアハウス非常口危険**  
**固** 府から非常口が危険だと指摘。補正内容より危険だ。不特定多数の方に何かあったらどうする。  
**町長** 町の責任になる。早期に対応したい。

## 12月定例会 賛否一覧

賛否の分かれた議案のみ掲載 ○印は賛成 ×印は反対 (議長は賛否同数の時のみ態度を表明し、議案成否を決定します)

定例会 審議案件	議員名																		
	賛成	反対	有吉	高岡	河邊	小牧	安達	江原	和田	伊藤	藤田	宮崎	渡邊	多田	今田	家城	塩見	勢籓	
米軍構成員の軽自動車税の軽減条例	12	3	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町税条例等の改正	12	3	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
京都地方税機構規約変更の協議	12	3	○	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	—
指定管理者の指定(旧加悦鉄道加悦駅舎)	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	—



# 専決処分<sup>①</sup>の報告

職員の公用車事故件数は  
合併以来122件  
今回事故4件の専決処分の報告を受けた

## 多すぎる車の事故

今田博文

**副町長** 事故を起こした本人の処分はどうなるのか。  
**副町長** 最初は所属長の注意とし、必要に応じ処分を行う。  
**副町長** 車の事故が10年間で122件にも上っている。なぜ事故が減らないのか。処分をすべきだ。



公用車

**総務課長** 軽微な事故の処分基準がないので新しい指針を作り、幅広く処分ができるように要綱を作成する。  
**副町長** 戒告処分は、勤勉手当に影響はあるのか。  
**副町長** 勤勉手当に影響する。

## 条例改正

- 岩滝コミュニティセンター条例の廃止  
同施設を改修し、与謝郡福祉会のデイサービス施設に活用する
- 平成28年の人事院勧告に基づき町特別職の給与・報酬条例の改正
- 町職員の給与条例改正



広がるデイサービス

● アメリカ合衆国軍隊関連の軽自動車税の特例に関する条例制定  
米国軍隊構成員の所有軽自動車に対し税の軽減する

## 米車の車両に税軽減？

伊藤幸男

**副町長** この議案の対象が、多くの住民らが反対している米軍基地であること。日米安保条約や地位協定によって、京丹後市にあるXバンドレーダー米軍基地職員が使う軽自動車などの軽自動車税を、特別に軽減するもの。だが、この間、京丹後市や福知山で、アメリカ軍が様々な実弾訓練など軍事的行動を予定している。特に重大なのは、今年8月、防衛省は京丹後市の米軍基地に配属された軍人らの実弾による射撃訓練を、今年11月から福知山陸上自衛隊の射撃訓練場で実施するという、米軍の意向を伝えた。加えて日本

政府は、日米合同委員会で福知山の自衛隊施設を日米の共同施設に指定する手続きを進める考えを示している。こんな軍事行動を行なう米軍に、税の軽減する条例を作るのか。この情報は町に入っているのか。交通事故が発生させているが。  
**町長** 直接、情報は入っていない。交通事故は41件と聞いている。



米軍の専用プレート

## 増加する税機構業務

高岡伸明

● 町道路線の認定について  
川向玉ノ木線（石川区）140mを認定する。

● 京都地方税機構規約変更に関する協議  
業務に自動車取得税、自動車税及び軽自動車税に係る申告書等の受付事務を加える

## 京都地方税機構

「京都地方税機構」は、京都市と府内25市町村（京都市を除く）の税業務を共同で行い、納税者の利便性を高めながら、より一層の公平・公正な税務行政の実現をめざす広域連合です。

京都地方税機構ホームページ

**副町長** 今回税機構に追加する業務は、自動車税に関する受付審査業務である。  
**副町長** 二輪の軽自動車と軽自動車の徴収率は特別悪いのか。  
**副町長** 特別悪くはなっていない。  
**副町長** 悪くないのであれば、なぜ税機構に徴収業務を移管するのか。  
**副町長** 町税に関しては、すべて移管している。

## 京都府後期高齢者医療広域連合議会

後期高齢者医療広域連合における保険料関係の推移（H28年は予算）

		H20-21年	H22-23年	H24-25年	H26-27年	H28-29年
保険料率	均等割	45,110円	44,410円	46,390円	47,480円	48,220円
	所得割	8.29%	8.68%	9.12%	9.17%	9.61%
不均一保険料率	均等割	37,320円	39,300円	43,720円		
	所得割	6.86%	7.69%	8.60%		
一人あたり保険料	府内平均	71,378円	71,441円	74,286円	72,653円	75,724円
	町平均	31,401円	33,172円	36,263円	38,231円	39,216円

☆ 都市部の医療費と、交通の便も悪く先端医療を受けることが難しい過疎部との医療費格差があり、不均一保険料の制度であったが、25年度で終了し26年度より統一された。  
☆ 1人当たり保険料の府内平均と与謝野町平均の違いは、保険者の所得の格差による。

## 組合議会の報告

## 宮津与謝環境組合議会

事業名称：(仮称)宮津与謝広域ごみ処理施設整備・運営事業 施設の概要

### ☆建設工事請負契約

公募型プロポーザル方式による随意契約  
契約の金額：91億2060万円（消費税込）  
市・町の負担（人口割与謝野町は51.5%）  
焼却施設（ストーカ式焼却炉） 41億5260万円  
発電施設（乾燥メタン発酵方式） 28億5120万円  
マテリアルリサイクル施設 21億1680万円

（燃やさないごみ、大型ごみ、びん、かん、ペットボトル、発泡スチロール、製容包装、紙製容器包装、プラステック、有害ごみなど）

契約の相手方：タクマ・金下特定建設共同企業体

### ☆運営業務委託契約

平成31年8月1日から平成51年3月31日までの20年間  
契約の方法：公募型プロポーザル方式による随意契約  
契約の金額：110億5920万円（消費税込）  
毎年5億5296万円の負担  
（ごみ量により3年ごとに見直し）  
市・町の負担（人口割与謝野町51.5%）  
（開始3年間は人口割、その後はごみ量割り）

契約の相手方：タクマ・金下特定建設共同企業体



# 一般質問

## ここが聞きたい

「一般質問」は、定例会のみ行なわれるもので、行政全般にわたる議員主導による質問であります。質問を受ける執行機関・理事者側も共に十分な準備が必要なために、事前通告制となっています。

そのほかの議案などに対する「質疑」は、提案された議案に対して疑義を問うたことです。

※発言順に掲載しています。

**問** 医療機関にかからない人が増えている。高齢者医療費の増額をどのように思われるか。

**町長** いずれ窓口負担の増額も来るのではないかと思われるが、そうならないように国に対し施策を講じるよう、町村会を通じ要望する。

**問** 丹後医療圏での病床数が過剰とされている。地域の実情と乖離しているのではないか。

**町長** 地域医療構想案では、現行の病床数の確保が検討され、現状どおりと推測している。現状確保に向け意見を言う。

**問** 丹後医療圏域の救急医療体制をどのように思つか。

**町長** 丹後地域の救急医療体制は、京都府立医科大学附属北部医療センターが担っている。診療拒否などはなく、感謝している。

**問** 北部医療センターに救命救急センターを作る必要があるのか。



高岡 伸明

### Q 高齢者医療費増額をどう考えるか

#### A 国に対し施策を、町村会を通じ要望したい

では。

**町長** 地域医療の格差是正にとって望ましいが、「24時間診療体制の確保」「医師・職員体制、最新の設備」「高度な診療機能」を持つことが条件であり、難しいと考える。



北部医療センター

**町長** 丹後医療圏域では、327床の過剰とされている。北部医療センターにおいて、影響はない現状においては、影響はないと思われる。

# Q 老健保育教育の複合施設の建設を

## A 複合施設は重要。特養から要望もあり進める

町民にできる支え合いの仕組みが必要。

**町長** 老人介護・就学前教育・保育・障害者就業等が、一同に存在する空間施設は非常に重要。ある特養事業者から地盤沈下発生で、町有地提供の話もある。そういった考えも進めていきたい。

### 生涯現役の強化施策を

**問** 介護保険料・町民及び行政負担軽減の策とは。

**町長** 提案いただきたい。

**問** 65歳以上の非介護のための健康維持政策とその人口増である。この政策実施実施してもらいたい。

**町長** あらゆる角度から検討する。

**問** 世帯分離で介護保険料・介護負担金が減額になることを承知か。

**町長** 職員がひまわりバスを通勤に利用する。また、駐車料金を支払う。その収入を、ひまわりバス運営に充てれば、些少財源は確保できるはず。

**町長** 検討したい。

**問** 職員がひまわりバスを通勤に利用する。また、駐車料金を支払う。その収入を、ひまわりバス運営に充てれば、些少財源は確保できるはず。

**町長** 検討したい。

### 町職員駐車料金負担を

**問** 町職員は通勤に自家用車を利用し、公有地に駐車しているが、駐車料金を払っているのか。

**町長** 支払っていない。

**問** ひまわりバス200円

**町長** 路線バスに乗継いでも200円にならないか。

**問** 財政的に厳しい面があるが検討する。

**町長** 認識しているがデメリットも正確に説明していきたい。

### Q 町の取り組みとPRは

#### A 町の魅力を発信する



映画のポスター



渡邊 貫治

**問** 阿蘇ベイエリアで、いろいろ行事が行われているが、町民にどのようにならせていくのか、町民がどのように活用できるのか。

**町長** 国の地方創生加速化交付金（1千4百万円）を財源に、町の補助事業として、阿蘇シーサイドパークでのトライアル事業を行う

ている。まちづくり法人による企画から運営の事業である。

**問** 11月のシネマイベント開催で騒音問題が指摘されたが。

**町長** 岩滝地区区長会で阿蘇ベイエリアマスタープランの概要、民間主体のイベントについて説明し、区役員をはじめ各区分民へ周知をお願いした。また騒音についても今後は注意して行い、住民の理解をお願いしたい。阿蘇ベイエリアの取り組みやいろいろな事業を町民一体となって進めていきたい



### Q 空き家の「適正管理条例」の制定を

A 本町にあった条例や計画策定を検討したい



塩見 晋

**問** 人口が減少する社会では、世帯の減少も起きる。国は「空き家等対策の特別措置法」を公布し、指針が告示され、市町村に対策計画の策定を求めている。年々増える空き家に対して、老朽化した危険空き家への「応急対策」、適正に管理された空き家の「活用策」、空き家の発生を防止する「予防策」を示した条例の制定が必要となるのでは。

**町長** 昨年、空き家調査を実施し761戸は廃屋化している実態が判明した。危険空き家の応急対策は、先ず所有者に対応をお願いしている。予防策も含めた条例や計画を検討したい。

### Q リベラルアーツの推進

**問** リベラルは自由、アーツは技術、芸術、学問を意味し、人を自由にする学問とも言われている。

**町長** 早急に上げたい。

**町長** 一般教養は、長期的に取り組むことで、裾野と厚みの増す学びである。参加の方々の希望もあり今後も必要と捉えている。町の多彩な人材育成事業として進めたい。

### Q 産業振興会議の設置

**問** 中小企業振興基本条例に設置を義務付けているが、12月なのに発足してない。

**町長** 早急に上げたい。



老朽家屋

大学の一般教養科目に準じた内容の講座で、だれでも聴講できるので、多くの参加者になるよう一層の周知と広報を。

### Q 町例規集のあり方は

A 一定の基準により表示をしている



電子化する町例規集



藤田 史郎

**問** 条例は地方公共団体(行政)が、国・府の法律・政令などのなかで、必要に応じた定められた法規である。条例に沿って行政運営がなされると認識する。そこで条例について提案と確認をする。例規集一覽で、改定された施

行年月日を追加し解り易くするべきでは。  
**町長** 全国に共通する専門業者のシステム仕様利用のため、変更できない。  
**問** 例規集(条例・告示・規則など)の多くは平成18年合併時に制定された現在そのまま生かされているのか。  
**町長** 必要に応じその都度、改定の手続きを行っている。

**問** 条例で一つの名称に対して一つの条例番号が付与され、重複がないものと認識するが。  
**町長** 条例番号は毎年1月から12月までの暦年毎に「第1号」から付けるので、同じ条例番号は存在する。与謝野町民に必要性のある条例などは、その目的・内容を解り易く積極的に広報すべきである。

**町長** 町民に関連の深い事項については、解り易い形で広報に掲載し、周知を図る。

### Q 合併して良かったと思える町は

A 住民サービス向上に努め一定の貢献はできた



宮崎 有平

**問** 合併10年の総括を問う。①合併の効果②合併後の課題③今後の展望は。  
**町長** ①内部経費の削減、有線テレビ拡張事業、ひまわりバス運行事業、阿蘇海環境改善の取り組み、男女共同参画事業、健康診査事業、福祉施設の充実等、自助・共助・公助・商助によるまちづくりが定着した。②住民の一体感の醸成と賑わいのあるまちづくりを進めること。公共施設は本町の財政を圧迫する大きな課題であり、合理的な削減目標を定める。③町民参画・職員参画を基本とし、2040年を見据えたまちづくりを計画する。ひと・しごと・まち創生総合戦略を、道しるべとして、将来豊かで幸せあふれるものとなるよう努力する。

**問** 山陰近畿自動車道野田川大宮道路が開通して観光資源の少ない与謝野町には大きな痛手になる。観光まちづくりの対策は。  
**町長** 開通により、当町経由の車両は減少しているが、資源を活用した体験プランなど、素晴らしい感動を味わい、地域のモノ・ヒトと触れ合う魅力的な地域づくりを進め、滞在型の仕組みづくりを促進する。



野田川・大宮道路の開通

### Q 町の創生ブランド戦略の進捗状況は

A 「みえるまち」実現にプロジェクトチームで



江原 英樹

**問** 山添町政初年度と国の「市町村まち、ひと、しごと創生総合戦略」の法制成立が同時期となったため、町長の進める政策が町民に対し十分説明できずに、今日まで経過した事実は否めない。今度プロジェクトチーム発足に伴い、まちづくりの原点にたちかえり、地域の文化、歴史、伝統、基幹産業を軸に住民との対話を大切に



シルクプロジェクト

する現場重視と全体利益を図る姿勢が必要と思うが。  
**町長** 私の進める「新しい視点での産業振興策」及び「未来を見据えた教育施策」は国が地方創生の基

**問** ブランド戦略プロジェクトチームの活動は、創生総合戦略の鍵であることを認識して、メンバーに対してリーダー及びプロデューサーとしての教育を徹底し人材の養成に努める一方、行政組織機構改革を断行して官民あげてのバックアップ体制の確立が必要と思われるが。  
**町長** 行政組織機構改革は行う。併せて広く情報公開のできる体制を確立する。

本方針とする「従来の取組の延長線上にはない次元の異なる大胆な政策」と合致するものであり、実現に向けて住民との対話を尊重して事業構想が共有できるよう努める。





今田 博文

**問** 文科省の「小中学校 適正規模・適正配置」の手引きが改定された。どう捉えているのか。

**教育長** 基本的な方向性や考慮すべき要素を参酌し、府の基準と整合性を行い統廃合の考え方にした。

**問** 平成34年に一斉統廃合としていたが、再編が可能な地域から進めて行くとの方針になった。教育の機会均等はどうか。



地域の核は小学校

**問** 学校は地域の核でありコミュニティを醸成する場だ。廃校になれば地域の衰退がはじまる。

**教育長** 検討したい。

## Q どうなる小学校の統廃合

### A できる学校から進めたい

**教育長** 教育環境を優先し変更した。統合ができる環境なのに、他の地域が統合できるまで待つのでは機会均等にならない。

**問** 人を育て社会的自立をしていく力をつけるのが学校の役割。そのためには家庭や地域、学校が長く安定的に関わっていくことが重要だ。小規模校として残していく事が理にかなっている。

**教育長** 固定的な人間関係が成長を阻害している面もある。1回しかない小学校生活により良い教育を提供していくのも大人の役割と考えている。

**問** コミュニティを醸成する場だ。廃校になれば地域の衰退がはじまる。

**教育長** シンボルがなくなるのは地域の大きな問題であるが、衰退を食い止めるように協力したい。

**問** 統合が実現するのなら、最初の統合で校名や校歌は新しくすべきだ。

**教育長** 検討したい。

## Q 空き家の状況と計画の策定や措置は

### A 条例整備や計画策定はまだできていない



河邊 新太郎

**問** 全国的に空き家の急増が大きな問題になっている。空き家は、地震発生時の倒壊や不審者の侵入など、防災、防犯の面において、地域の大きな不安要素になっている。26年度に空き家対策特別措置法が成立した。これにより行政代執行までできる。与謝野町の空き家状況と計画の策定や措置の実施は。

**町長** 昨年、外観目視による空き家調査を実施した。その結果、町内に585戸(岩滝127戸、野田川241戸、加悦217戸)空き家がある。このうち61戸が廃屋化した空き家である。現時点では調査結果の集約、空き家情報の台帳化にとどまる。対策措置の実施や行政代執行に至るまでの条例整備や計画策定などはできていない。



これで安心 通学路

**子どもの安全・安心は**

**問** 交通事故から、子どもたちの安全・安心を確保するための通学路の取り組みは。

**教育長** 通学路での安全確保については、地域ボランティア、保護者や教職員による付き添いを行うなど、また民生児童委員、交通安全対策協議会や警察と連携し、安全確保に取り組んでいる。

## Q 給付型奨学金の課題と必要性は

### A 学生の貧困化対策としては有効だ



和田 裕之

**問** 今や学生の2人に1人は奨学金を利用している。ここ10年余りで利用者が増加した。日本は世界でも最も高い学費の反面、経済の悪化により親の収入の減少も一因があると考ええる。

多くは有利子型の奨学金となり、卒業後も安定した収入が得られず、奨学金が返済できない若者の現状は社会問題だ。

給付型奨学金は世界の流れであり、以前から必要性を訴えてきたが、ようやく国でも制度の必要性が検討され、創設に向けて動き出した。給付型の課題や必要性をどう考えているのか。

**町長** 指摘のとおり、経済的に困窮した家庭が増加傾向にあり、半数が奨学金を借りなければならぬ状況だ。町単独での給付型奨学金は慎重に研究したい。



### いじめの現状と防止策

**問** 先般報道された、いじめの認知件数は、京都府が一番多い。全国的にも差がありすぎる。やはり、子どもがどう感じ、受け止めたかであり、京都府下での調査は適正であり、数字は正確、精度の高い数字ではないかと考えるが。

**教育長** 京都府では2回だが、町では3回実施している。早期発見して解決することが重要で、一番は教員がいち早く察知し対応することだ。

## Q 阿蘇ベイエリアの今後の整備は

### A 国、府と近隣市町と連携して進める



安達 種雄

**問** 阿蘇海の水質向上と牡蠣等貝殻の除去を、国や府への働きかけは。

**町長** 阿蘇海環境づくり協議会と、大学ボランティアなどで行っている。男性山居民の方にもアオサの回収に協力頂いている。

**問** 国、府にも要望していく。田子學氏提唱の海辺の活用は。

**町長** 道路など安全面に配慮し、府と協議する。岩滝橋の復活、天橋立、一の宮との航路は。

**町長** 府や汽船航業会社と協議が必要。

**問** 体験型観光事業(カーヌー、セーリングなど)への取り組みは。

**町長** 民間企業と協議。公園内水路の浚渫を。



阿蘇ベイエリア

**町長** 岩滝は地形的に落差が少なく、土砂がたまりやすい。小学校の下の沈砂池を浚渫していく。

**問** 阿蘇海周遊レンタサイクルの導入は。

**町長** 府のサイクリングロードを活用、加悦方面へ含めて調査する。

**問** 阿蘇ベイエリアの近くに観光案内所が必要。

**町長** 岩滝母と子どものセンターか山與醬油倉庫を考えている。

**問** 現状で計画のスピード感が感じられないが、府北部の原動力となるべく、気概を持って取り組んでいく。



### Q 公共施設整理、統廃合計画の今後は

A 維持管理費30年間で157.5億円の不足



多田正成

**問** 197施設あり、順次迫り来る耐用年数、施設整理をどう考えるのか。

**町長** 行革委員会の答申では30年間で施設のコスト815.8億円、回せる財源658.3億円、157.5億円の財源不足が生じる。

**問** コスト額も不足額も解るが、その中で不足財源と施設整理をどうする。

**町長** 個々の施設の老朽化、利用度、コストの評価を行い、管理運営方針と実施計画を29年度内に。

### 新公会計制度について

**問** 29年度までに財務書類の作成を求められているが。

**副町長** 貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書、統一的な財務書類の試作を行い、29年度の公表に備えている。



**問** 新公会計制度が行財政運営に反映できるか。

**副町長** 厳しい財政状況は変らないが、財務書類が有益な資料となり財政見通しが立てやすくなる。

### 予算編成について

**問** 28年度24区の要望事項643件、完成数96件(15%)、29年度要望数713件、新規要望数だけでも166件(26%)。これでは地域環境は悪くなるばかり。

**副町長** 財政が厳しく応えられない。もう少し取組めるよう私としても考えていきたい。

### Q 町長就任後の自己評価と分析は

A 様々な取り組みから良い方向に向かっている



どうなる庁舎



家城 功

**問** 町長は「選挙時に掲げる公約は本人に帰結するものであり、政治家の政治姿勢に反映する」と議員時代に述べていた。そういった中で庁舎問題については「4年間で住民合意を図る」と言っていたが、本当に合意は図られるのか。

**町長** 町の中心地に総合庁舎建設を見据え基金

の積み立ても開始し一定の方向性は示した。それに向けたロードマップの中で住民の意見も聞きたい。

**問** 報酬及び退職金の返納は就任時から実行されるか。されないのか。

**町長** 内容も含め計画を示し、年明けの臨時議会で提案をする。

**問** その他多くの公約も含め公約の内容は、できることはしっかりと方向性を示すべき。できないことは理由を明確にして説明をした上で取り消すことが町民に対する責任。はつきりすべき。

**町長** 今後もしっかりと方向性を示す中で、町民の意見を聞きながらまちづくりを進めていきたい。

### 付帯決議のその後は

**問** 桑の葉関連の事業には付帯決議が可決された。事業を進めるのであれば説明をしっかりと。

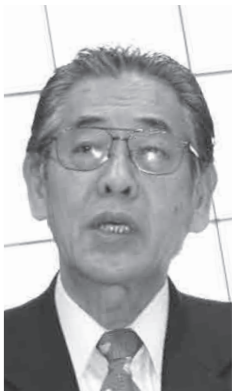
**町長** 事業は進めている。現在専門的な意見も聞き説明をして進めていく。



建設業部会とのこん談

### Q 税負担で苦しむ低所得層対策を

A 幼稚園の保育料など対策をしている



伊藤幸男

**問** 消費税8%により一段と深刻な地域経済だが、住民の営業と暮らしが厳しい現状の下、今の税・公共料金の負担に悩む住民に対する、①消費税など、②タックスヘイブンをどう思うか。

**町長** ①本格的な少子高齢化を迎え、社会保障費を安定的に確保するために消費税が作られた。消費税の逆進性だが、低所得層に社会保障が充実されれば解決する。

**問** 社会保障の連続の後退で、負担が年々増え続け、町の多くの住民や低所得層はいまの税負担に苦しみ、地元業者は儲けがなくなり、消費税を払わねばならないなど、消費税や公共料金

などが地元業者・住民に過重な負担となっている。政府は386兆円も貯め込む大企業に、また法人税引き下げなど優遇税制を進める一方で、「金がない」と言っている。医療・年金など社会保障を削る政治を進めている。税の使い方が間違っている。本町は、国保世帯の所得200万円未満が9割を占め、介護保険料では所得190万円未満が95%を占めている。抜本的な低所得層対策が在るのでは。

**町長** 幼稚園の保育料なども対応している。



増える公共料金

### 産業建設環境常任委員会の活動報告

### 商工会建設業部会と懇談

- ・開催日 11月18日
- ・安田商工会長や同建設業部会役員
- ・協議テーマは、主に以下の3点。

・開催日 11月18日  
・安田商工会長や同建設業部会役員  
・協議テーマは、主に以下の3点。

- (1) 町中小企業振興基本条例と入札制度、地元発注、予定価格の事前公表の廃止問題。
- (2) 空き家対策、いろいろな要望・意見が出された。
- (3) 生コン技術者からみたコンクリート舗装など。

懇談は全体で2時間程度であったが、大変実のある懇談であり、お互いに活発な意見交換ができた。

### 与謝野町宮津中学校組合議会の報告

### 昨年度決算の報告

- (1) 全校生徒数は前年より10人減の257人(学年別では1年生87人、2年生72人、3年生98人)になっています。
- (2) 要・準要保護児童生徒事業(就学援助制度)の対象は、前年より10人増の64人でした。
- ★この事業は、平成27年度までは宮津市と与謝野町には基準の格差がありました。28年度から改善・拡充され、両市町とも生活保護基準の1.5となりました。
- (3) 3年生の進路状況は国公立60人、私立38人でした。

### 政務活動費について

全国の地方議会で不正受給が問題になっている「政務活動費」は、与謝野町議会で、この制度がなく、受け取っていません。



## 町長への要望事項

議会懇談会で出された住民の皆さんの要望・意見をまとめ、次のとおり町長に提出しました。

- ① 財政状況が厳しい中で、ふるさと納税の強化をはじめ、なお一層の財源確保に努められたい。
- ② 河川の整備や府道岩滝加悦自転車道の管理や照明新設など、京都府と連携を強化し、町民の要望実現に努められたい。
- ③ UターンやIターン、また若い人が定住できるよう、企業誘致、雇用の創出を図るなど産業振興に努められたい。
- ④ 安心して子育てができ、また障害のある方や高齢者にやさしいまちづくりに努められたい。
- ⑤ 小学校の統廃合について、明確な道筋を示していただきたい。
- ⑥ 町が実施する事業や施策、取組みについての情報発信は、わかりやすく、丁寧に行っていただきたい。
- ⑦ 管理不全の空き家対策の強化と利活用可能な空き家の改修など積極的な支援策について、早期に取り組んでいただきたい。
- ⑧ 各自治区との連携を図り、役割分担を明確にし、自治区への負担軽減に努めていただきたい。
- ⑨ 保育所（園）、幼稚園及び各小中学校の敷地内外の環境整備と管理を徹底されたい。
- ⑩ かや山の家の進入路及び風呂の改修に取り組まれたい。

多くのご参加ありがとうございました

# 議会懇談会の報告

議会運営委員会



開催日	会場
10月18日	金屋地区公民館
10月20日	加悦奥地区公民館
10月21日	算所会館
10月24日	温江地区公民館
10月25日	香河地区公民館
10月26日	与謝地区公民館
10月27日	岩屋地区公民館
10月28日	四辻地区公民館
11月7日	下山田地区公民館
11月8日	弓木地区公民館
11月10日	浜町会館
11月11日	東町会館

●参加者 男性107名、女性9名 合計116名

## 総括

本年度は12地区を会場として巡回し、議員を3班に編成し実施しました。参加者数は、昨年の24会場197名に対し、12会場116名と減少となりましたが、岩滝地区においては若い世代の方や女性の参加も多くありました。

本年度も議会へのストレートな批判はあまりなく、前向きなご意見が多く見受けられ、町民の方の議会への期待は大きいと受け止めております。また地域の問題課題や町の将来についてのご意見などもお聞かせいただき、幅広い意見交換ができたと感じております。

最後に1班5名という体制の中で、議員間の連携や意欲は



一層深まりを感じておりますが、議員一人ひとりに資質向上が求められるなかで、果たすべき役割と責任は大きいと改めて感じております。この議会懇談会を糧に今後の議員活動を邁進したいと感じております。

## 「会派の動き」についての説明と今後の議会対応

■議会懇談会で、議会だより第41号5頁の記事「会派の動き」へ多くの質問があり、議会運営委員会にて一定の整理し、全議員協議会で協議したの

で、報告します。  
■そもそも会派とは、議

会内で結成された議員の政策的・同志的集合体のことを言います。また与謝野町議会では、議長などの役職の選任についての協議なども会派間で

行っています。  
■役職選出の協議中に1つの会派が2つに分かれるという場合は、過去に



に会派が役選に利用されただけではないか」という指摘でした。

■結果的に、三役独占など議会内でしこりが残る結果となったことは事実であり、議会では、このことを深く反省し、役選協議中の会派の分割・変更は認めないことを確認した。その下で、①会派は、本来の目的を再確認し、達成に向けて活動する。②会派のみならず、議員一人一人の資質をさらに向上させる取り組みを積極的に行う。以上、

■残りの任期は後1年と数カ月になりました。これからも、各々の議員が日々研鑽し、町民の皆さんと一緒に「より良い与謝野町」を築いていく決意です。

■これからも、よろしく

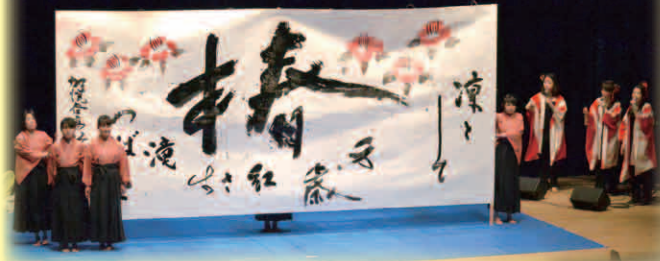


## 山田小学校 の紹介

本校では、異年齢集団活動を大切に様々な取組を進めています。

児童会活動では、「スマイル ～ステきな まいにち いっしょに つくる～」をスローガンとし活動しています。人権学習の取組「スマイルキャッチボール」では、「言葉は人を傷つけることもあるが、プラスの言葉で認め合ったり、感謝の言葉を伝え合ったりすることで、よりよい『つながり』を築くことができる」と学びました。

運動会の全校表現では、「みんなでスマイル」を創り上げました。毎日の清掃や自転車道をきれいにする「ふるさとクリーン作戦」にも、異年齢集団で取り組んでいます。これらの取組を通して、人と気持ちよくつながる力を伸ばしています。



加悦谷地域の住民の皆さんの熱い思いを背景に昭和23年に開設され、平成30年には創立70周年を迎えます。同窓生は1万2000名余りを数え、各方面で活躍されています。

現在は、普通科のみで定員370名の小規模校ですが、「地域貢献」と「ハイレベルな文武両道」を目標に教育活動を展開しています。

「地域貢献」では、町の活性化に向けた

## 加悦谷高等学校 の紹介

平成28年度 全国高等学校総合体育大会ウエトリフティング競技大会  
高松宮賜旗 第63回全国高等学校ウエトリフティング競技選手権大会



町への提言授業、書道部・合唱部などのイベントへの参加や着物着付け教室などに取り組んでいます。「文武両道」では、一人一人の個性を伸ばし希望進路を実現するとともに、ウエトリフティング部と書道部が毎年全国大会に出場し、野球部も昨夏に2勝するなどの活躍をしています。